

【 粗い試算（平成31年2月）で見込んだ令和2年度収支不足額 】

(A) **▲420億円**

【 粗い試算からの変動（一般財源ベース） 】

(B) **+30億円** (ア) - (イ)

《 歳入 (ア) 》	+55億円	
府税・地方法人特別譲与税		±0円
交付税等		+65億円
その他収入（宝くじ収入等）		▲10億円
《 歳出 (イ) 》	+25億円	
人件費		+10億円
社会保障関係経費		+30億円
投資的経費・一般施策経費		▲15億円
※ 府大・市大の授業料無償化（府制度） に係る+11億円を含む		

【 令和2年度収支不足額の見込み 】

(A) + (B) + 今後の変動 ≙ **▲390億円 + α**
(今後の変動による)

⇒ 予算編成過程で再精査の上、財源対策を検討

※ 財政調整基金残高(R1未見込)：1,178億円

《 参考 》 粗い試算からの変動を織り込んだ当面の財政見通し

	R3	R4	R5
粗い試算（平成31年2月）で見込んだ収支不足額	▲250	▲240	▲350
粗い試算からの変動（一般財源ベース）	▲10	▲45	▲35
収支不足額の見込み	▲260	▲285	▲385

★ 今後の主な変動要素

- ・府税収入の動向、令和2年度地方財政計画及び税制改正
- ・令和元年度人事委員会勧告への対応
- ・実施を検討中の新規・拡充事業
(重度障がい者の就労支援、医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援、高齢者の安全運転支援など)